自由民主党 いわて県連だより

Vol. 6
2018年9月
発行責任者:
自由民主党
岩手県支部連合会

総裁選挙施行日程 9月7日告示、9月20日開票に決定

安倍晋三総裁の任期満了に伴う総裁選挙が「9月7日告示、9月20日開票」の日程で執り行うことが決定しました。党員投票は9月19日に締め切られ、翌20日に開票されます。党員投票における選挙人は、「日本国籍を有する20歳以上で、前2年（平成28・29年）の党費・会費を納入した党員・自由国民会議会員・国民政治協会会員（以下、「党員等」）」と、今回は特例として、平成29年に新たに党費・会費を納入した党員等（18・19歳を含む）にも選挙権を付与することが決定しました。投票用紙は、告示日の9月7日に往復はがきで選挙人宛に発送します。投票用紙(返信はがき裏面)に候補者1名の氏名を記入の上、投票締切日の9月19日迄に盛岡中央郵便局に必ず到着するよう、お早めに投函して下さい。

「市町村重点要望調査」を実施

一関市での要望調査(7/23)

去る7月下旬から8月上旬にかけての延べ6日間、「市町村重点要望調査」を実施しました。この活動は、直接県内全市町村を訪問する形で平成17年から毎年実施しており、今年で14年目となります。今回は例年より意見交換の時間を増やしたほか、震災被災地の沿岸市町村では、現地視察も組み入れ、復興状況の把握や新たな課題等について視察をしました。県内全域では、国県道や河川改修などの社会資本整備の促進や、医師確保対策等の地域医療体制の充実などの継続要望が多く、沿岸部では被災跡地の土地利用対策などの復旧・復興対策の推進の要望が多く寄せられました。さらに、ＩＬＣの実現、県立高校の存続、農業・農村政策の推進、秋サケの資源回復等の水産業対策の推進、林業振興、畜産振興、観光振興、企業誘致など多岐にわたる要望がありました。これらの要望を踏まえ、今後、少しでも多くの要望が実現し地域重点課題が解決していく様、国・県、党本部への要望活動や、議会活動等を通じ県連一丸となって取り組んでまいります。

女性局「いどばたキャラバン」の開催

太田女性局長を囲んで和やかに開催されました

7月23日、一関文化センターにて参議院議員太田房江女性局長にご出席頂き「いどばたキャラバン」を開催しました。「いどばたキャバン」は、未入党女性に、発言しやすい環境のなか、政策の疑問やご意見を聞き、自民党の政策や活動への理解や協力、支持拡大を目的に開催しています。本年は一関支部女性部が主体となり、24名のご参加を頂きました。参議院定数、もりかけ問題、震災復興、災害時の消防団の活動、少子化、人口減、若い世代の都市部への人口流出など様々なご意見がでました。ひとつひとつ真摯に回答頂いた太田女性局長に、ご参加の皆さんには国政を身近に感じて頂けたことと思います。

合同キャラバン隊県内52か所で遊説

毎年恒例の青年局・女性局・学生部合同の県内遊説キャラバン隊は、昭和の合併が終わった際の旧63市町村を基準として、県内全ての地域で街頭から自民党の政策を訴える活動です。今年は7月初旬からスタートし、延べ7日間52箇所で街頭演説をさせていただきました。各支部の皆様から暖かい歓迎を受け、元気をいただきながら活動しております。今後は盛岡広域圏を回る予定ですので、引き続き皆様のご協力を何卒よろしくお願いいたします。各地区を回りながら地域課題を共有すること、そして国会議員、県議会議員、市町村会議員の先生方、支部の皆様と連携し一緒に考えることで、課題解決に取り組んでまいります。今後とも青年局の活動にご理解を賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。

キャラバン隊 遊説での一コマ